

## 令和2年度 都市基盤整備事業推進大会を開催し、 自由民主党 柴山幹事長代理、佐藤総務会長、下村政務調査会長へ 要望を行いました

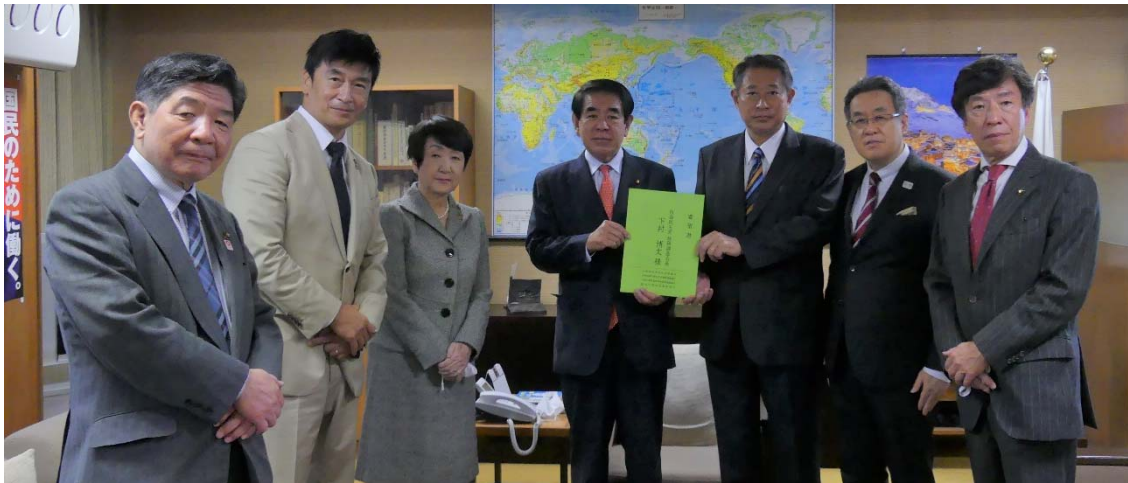
横浜市長が会長を務める全国街路事業促進協議会及び都市再開発促進協議会は、全国連続立体交差事業促進協議会及び全国土地区画整理事業推進協議会と合同で、「令和2年度都市基盤整備事業推進大会」を書面にて開催し、自由民主党 柴山幹事長代理、佐藤総務会長、下村政務調査会長に対して、都市基盤施設の整備促進に関する要望を行いましたのでお知らせします。

### 1 要望日時・要望先

日時(11月26日)	要望先	要望者
14時45分～14時55分	自由民主党 下村 博文 政務調査会長	横浜市長 東京都 杉並区長 東京都 昭島市長 東京都 目黒区長 福岡県 中間市長 大阪府 高石市長
15時00分～15時10分	自由民主党 佐藤 勉 総務会長	横浜市長 栃木県 益子町長 栃木県 鹿沼市長 栃木県 矢板市長 栃木県 芳賀町長 栃木県 県土整備部長
15時20分～15時30分	自由民主党 柴山 昌彦 幹事長代理	横浜市長 兵庫県 姫路市長 愛知県 知立市長

## 2 要望の様子

### 自由民主党 下村 博文 政務調査会長



左から、高石市長、中間市長、横浜市長、下村政務調査会長、杉並区長、目黒区長、昭島市長

### 自由民主党 佐藤 勉 総務会長



左から、鹿沼市長、横浜市長、佐藤総務会長、益子町長、矢板市長、芳賀町長、栃木県県土整備部長

### 自由民主党 柴山 昌彦 幹事長代理



左から、知立市長、姫路市長、横浜市長、柴山幹事長代理

### 3 大会概要

- 1 議決年月日  
令和2年11月18日（水）（書面開催による議決）
- 2 決議文  
別紙のとおり
- 3 主催  
全国街路事業促進協議会（会長：横浜市 林 文子）  
全国連続立体交差事業促進協議会（会長：愛知県知事 大村 秀章）  
全国土地区画整理事業推進協議会（会長：仙台市長 郡 和子）  
都市再開発促進協議会（会長：横浜市 林 文子）
- 4 要望先  
国土交通省、財務省、官邸、自由民主党本部、国会議員

※ 写真データをご希望される方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

#### お問合せ先

横浜市道路局計画調整部事業推進課長（全国街路事業促進協議会 事務局長）  
森田 真郷 Tel 045-671-2937

## 都市基盤施設の整備促進に関する決議

ポストコロナ時代の「新たな日常」を実現するとともに、人口減少・超高齢社会のもとで、魅力と活力にあふれる安全で快適な都市の形成を目指し、都市基盤施設の総合的かつ一体的な整備を促進するため、次の事項を強く要望する。

- 一、防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策につづき、次期五か年間の事業を継続するとともに、対象事業拡大に必要な予算を別枠で確保すること
- 一、幹線道路ネットワークの整備や渋滞対策を通じて、生産性向上と魅力ある都市空間の形成を図るため、必要な街路整備や多様な整備手法・コスト縮減の促進等による無電柱化事業を積極的に支援すること
- 一、新たな広域道路交通計画を早期に策定するとともに、平常時、災害時を問わず安定的な輸送を確保するため、重要物流道路の更なる指定と、関連する街路整備を重点的に支援すること
- 一、連続立体交差事業を国の重点政策として推進し、円滑な事業実施に支障のないよう、継続的に予算枠を確保するとともに、ストック効果を最大化させるため、関連街路等の整備を集中的に支援すること
- 一、コンパクト・プラス・ネットワークや都市再生等の推進、防災・減災を主流とした災害に強いまちづくり、都市の国際競争力の強化及び良好な生活環境を実現するため、高い整備効果が期待される土地区画整理事業及び市街地再開発事業をより一層支援すること
- 一、特に、組合施行等による市街地整備事業については、事業の進捗に支障を来すことのないように必要な予算を確実に確保すること
- 一、コンパクトでゆとりとにぎわいのあるウォーカブル都市の構築に向けて、既存ストックを最大限活用した「居心地が良く歩きたくなる」空間創出にかかるとる事業を重点的に支援すること
- 一、都市再生や地域経済の活性化を核として、将来にわたってストック効果が発揮できるよう、新たな財源を創設するとともに、令和三年度予算における都市基盤整備費を所要額確保すること

また、令和二年度補正予算を早期に編成すること。

令和二年十一月二十六日